

日本一静かで 笑顔あふれるカフェ

校長 片山 亮一

再び見舞われた降雪により 2 月 18 日が 2 度目の臨時休業となり、保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。本当にありがとうございました。

まだまだ寒暖の差が激しいところもありますが、それでも春がもうそこまでやってきていることが感じられ、だれもが春への期待感を膨らませているところでしょう。

令和 2 年度も残りわずかとなりましたが、生徒たちが「有終の美」を飾れるよう学校の運営を工夫してまいります。

さて、先日、あるドキュメンタリー番組を目にしました。そこで紹介されていたのは「いらっしやいませ」の声が聞こえてこない大手コーヒーショップチェーンの「とあるカフェ」です。

スタッフの 8 割に聴覚の障がいがあり、手話で接客するために「いらっしやいませ」「ありがとうございました」の声が聞かれないのです。

「このイチゴのドリンクひとつとドーナツひとつ、そしてケーキもひとつ」とお客さんもスタッフも目と目をつないで笑顔でコミュニケーションし、それが周囲の心に届いていきます。

カフェのオープンのために準備が始まったのは昨年 6 月、スタッフのほとんどは接客業が初めてですが、カフェは「夢の舞台」。

オープンまで 3 週間を切り、接客や飲み物の作り方のトレーニングが始まりました。だれもがつまづいたのは、音を聞かないと難しい「ミルクを温めながら泡立てる作業」です。アルバイト経験のある女性リーダーがお手本を示しながらコツを伝え、皆が目と感覚だけで補います。

このリーダーの女性は他の会社で事務職として働いていましたが、聴覚障がいがあっても接客ができること知り、このチェーン店でアルバイトから始め、2 年後には正式社員の試験を見事に突破し、そのやる気は役員幹部の目にとまりました。そして、役員たちに「聴覚障がい者がスタッフのカフェをつくりたい。聞こえないという壁があると接客は無理だというイメージを私は壊したい。」と訴え、この日本にひとつしかないカフェがオープンしたといえます。その接客の表情には、笑顔だけでなく自信とプライドが見え隠れしています。

コロナ禍で人と会話する時間がめっきり減ってしまったため一日に 2 回も通う老紳士、お客さんが激減して不安と闘うなかでエネルギーをもらいに毎朝立ち寄る若い美容師と、ここを居場所にする人々は様々ですが、その言葉に共通するのは「笑顔の接客への感謝」です。

読み書きが苦手な学習障がいのある男の子が学習塾の先生とやってきました。カフェで働く人たちを見て何かを感じてくれればと願い、先生が男の子を連れてきたようです。



なんか言葉をすごい大事にしている感じがあるよね。

言葉って大事だね、手話であっても点字であってもつながるためのものだから、注文を 1 個するだけで感じられるものね。

行き詰ったりもう駄目だと思うこともあっても、このカフェを思い出し、可能性を信じて逃げずに進んでいきたい。

先生とのやり取りのなか、男の子の目に映ったのは「手話という言葉を使って全身で伝えようとする姿」、そして「自分の将来の可能性」だったようです。

いきいきと働く笑顔に満ちた姿からパワーや一日のエネルギーをもらえる特別な場所。私もそのカフェに行きたくなりました。そのような場所が近くにあればよいのにと考えました。

でも、何よりも大切なのは、学校や家庭、地域をそのような場所にする私たちの「何気ない心づかい」なのかもしれません。

ドキュメンタリー『目撃！ にっぼん：日本一静かで 笑顔あふれるカフェ』との出会いに心から感謝です。



今後の主な予定



3 月 9 日 (火) 県立高校一般入試 (~10 日)
12 日 (金) 卒業を祝う会
15 日 (月) 県立高校追検査
雄中 LOVE プロジェクト
16 日 (火) 卒業式予行・同窓会入会式
17 日 (水) 第 74 回卒業式

3 月 18 日 (木) 県立高校合格発表
24 日 (水) 修了式
25 日 (木) 学年末休業 (~4 月 5 日)
4 月 6 日 (火) 始業式
8 日 (木) 雄山中学校入学式

1年生『総合的な学習の時間』発表会～いろいろな気づきがありました～

1月26日(火)5、6限に、1年生が「総合的な学習の時間」に取り組んできた課題追究学習について各テーマに沿って伝え合いました。質疑応答では、素朴な疑問や今後の課題追究の広がりについて分かりやすく答えるなど、積極的な意見交換がなされました。

【発表した生徒の感想】

- ・調べ学習は終わったけれど、これからも富山の産業について調べたい。全員が私の話を集中して聞いてくれてうれしかった。
- ・質疑応答では、違う視点からみることができることを知り、とても勉強になった。

【発表を聞いた生徒の感想】

- ・自然を破壊していくのは自分たち人間のせいであることが改めて分かった。人間が捨てるプラスチックごみを動物が飲み込んで、動物の数が減っていることを知った。これからは、そのごみを拾うなどして、環境を守っていきたい。
- ・富山には長生きやメタボの対策につながる魚がたくさん捕れるし、自然が豊かで魅力がたくさんあると思った。また、戦時中、富山には多くの工場があったため、厄介な存在と思われて爆弾が落とされたことと知ってとても驚いた。
- ・富山の仏壇は内装は金色だが、県外の仏壇はシンプルで金色でないことに驚いた。また、仏壇に使われている金箔は石川県のものであることことも分かり、他県との交流も感じられた。



富山の自然の素晴らしさを伝える



疑問に感じたことをその場で質問



気づきを全体で発表

生徒の心からのおもてなし『入学説明会』

2月5日(金)、立山町内の小学6年生を対象に入学説明会を行いました。中学校の生活や準備物等についての学校説明の後、2年生が学校生活の一日の流れや主な行事、部活動について、寸劇やパフォーマンスを交えて楽しく伝えました。また、1年生はクラスごとに動画をつくり、歓迎の気持ちをリレー方式で伝えました。



入学予定の6年生



保護者受付の丁寧な対応

【生徒の感想より】

- ・部活動に興味をもち、早く中学生になりたいと思ってもらえるように部活動の紹介を頑張りました。2年前は「見る側」だった僕が「見せる側」になり、何だか懐かしく感じられました。同時に3年生に近付いていると感じ、学校を引っ張っていける先輩になれるよう、気を引き締めようと思いました。
- ・入学説明会では劇を担当しました。新入生に「中学校は楽しい」と思ってもらえるように劇の練習をし、意見も出しました。みんなが一丸となって協力したおかげで、本番はすごく緊張したけれど精一杯頑張ることができました。今までで一番よいものをつくり上げることができ、とてもよい経験になりました。今年は例年とは異なることが多くで大変でしたが、もうすぐ3年生になるんだと実感できました。



寸劇「雄山中学校の一日」



自慢の「よさこいソーラン」



部活動の魅力伝える



1年生による動画メッセージ

図書を寄贈していただきました

立山製紙株式会社から、図鑑『学研の図鑑』(全21巻)を寄贈していただきました。

今は生徒玄関に展示していますが、今後、図書室で手に取ることができるようになります。お心遣いに感謝しながら、多くの生徒が様々な場面で活用してくれることを願っています。



ハイクオリティな写真や最新の情報が満載
～本物よりも本物を観察できる図鑑～